

## ぷらっとホーム、LTEや地域BWAなどの高速通信に対応した 超小型IoTゲートウェイ「OpenBlocks® IoT BX5」を発表

2017年6月2日、ぷらっとホーム株式会社（証券コード：東証二部 6836、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下ぷらっとホーム）は、LTE や地域 BWA などの高速通信に対応した OpenBlocks® IoT BX5 を発表した。

OpenBlocks® IoT BX5 は、NTT ドコモの LTE/3G および、KDDI の LTE に対応するとともに、さらに地域 IoT の高速アクセス回線として注目されつつある地域 BWA 通信に対応しています。

OpenBlocks® IoT family の特徴である極小サイズはそのままに、低価格・大容量通信に対応したことにより、IoT の広域通信でボトルネックとなっていた大容量のセンサー・デバイス通信を容易に実現します。

### 製品特長

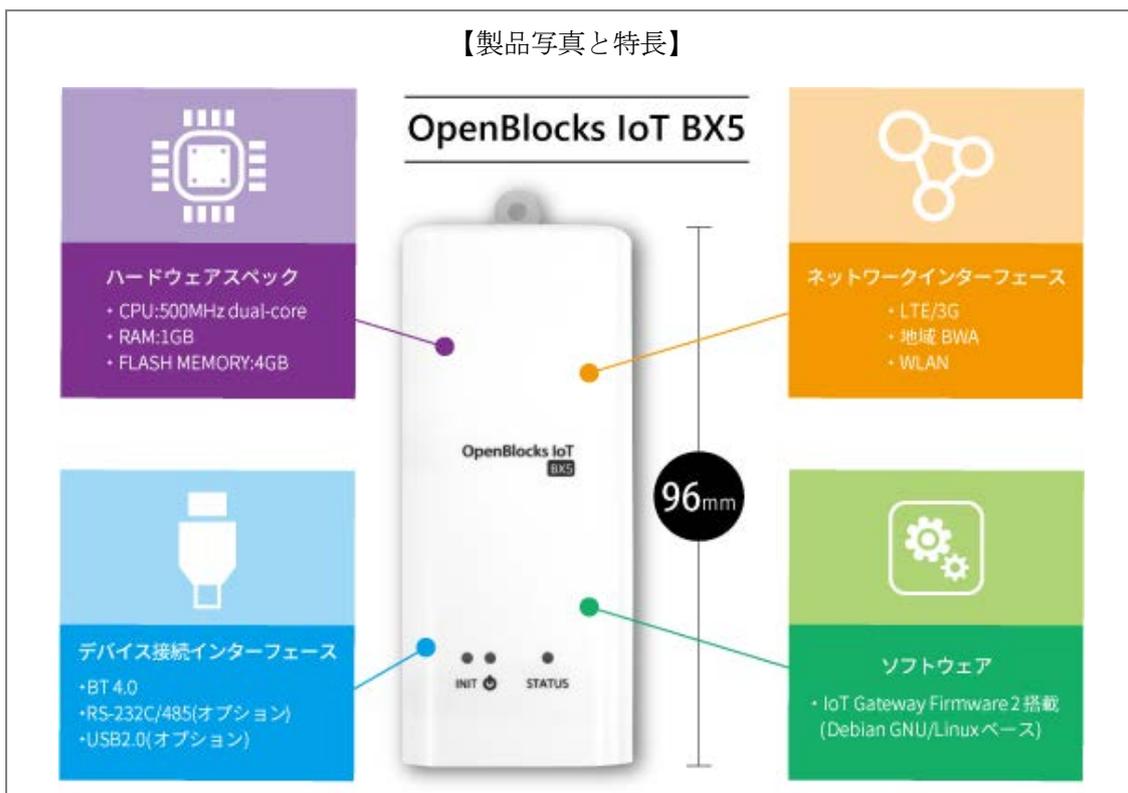
- LTE による大容量通信

この度発表した「OpenBlocks® IoT BX5」は、すでに販売中で 3G 通信に対応した「OpenBlocks® IoT BX1」の機能や特長はそのままに、NTT ドコモや KDDI の超高速データ通信サービス LTE 通信に対応したモデルです。高速・低遅延な通信が可能となり、大容量な回線帯域を必要とする IoT システムの構築が可能となります。

- 地域 BWA※対応

地域の公共福祉を推進する通信技術として注目されている地域広域移動無線アクセスの通信にも対応し、地域 BWA を使った公共サービス構築にも活用可能な製品になっています。

※地域 BWA（Broadband Wireless Access）とは 2.5GHz 帯の周波数の電波を使用し、地域の公共サービスの向上やデジタル・ディバイド（条件不利地域）の解消等、地域の今日の福祉の増進に寄与することを目的とした電気通信業務用の無線システムです。



- 極小サイズフォームファクタ  
わずか 41.6mm (W) x 96mm (D) x 11.3mm (H) の極小サイズで、さまざまな場所・環境に設置可能です。設置レイアウトで悩むことなく導入いただけます。
- 無線・有線の各種インターフェースを搭載  
WLAN や BT などの無線通信を搭載し、さらに RS-485, RS-232C, USB 等の有線インターフェースもオプションで追加可能です。
- LTE/3G 通信対応  
極小サイズの筐体に NTT ドコモの LTE/3G および KDDI の LTE 通信に対応した通信モジュールとアンテナを内蔵しているため、高速・広域・低遅延なモバイルインターネット回線が利用でき、設置場所にとらわれない IoT システムの構築が可能です。
- パワフルな CPU と大容量メモリ  
22nm プロセス技術に基づくインテルの SoC を搭載し、さらに 1GB の RAM、4GB の FLASH ROM が搭載され、IoT のエッジサイドで必要となる様々なコンピューティング機能を実現します。

## IoT Gateway Firmware 2.1 搭載

OpenBlocks® IoT BX5 (以下、BX5) は、IoT システムを構築するために最適化したファームウェア「IoT Gateway Firmware 2.1」(以下、FW2.1) を搭載しています。FW 2.1 は、Debian GNU/Linux 8 を含み、独立したグラフィカルな管理用ユーザインターフェース「WEB UI」、様々な IoT デバイスと BX5 の通信をハンドリングするソフトウェア「PD Handler」、様々な IoT クラウドと BX5 の通信を行うソフトウェア「PD Emitter」が標準に含まれます。さらに BX5 上で視覚的にプログラミング可能な「Node-RED」を搭載し、プロトタイプングから本番導入まで、エッジコンピューティングの容易な実現を支援します。

- FW2.1 で標準サポートするセンサー・デバイス例
  - BLE ビーコン
  - 気圧・温度・湿度・照度・UV・音圧センサー
  - CO2 センサー
  - 加速度センサー
  - ほこりセンサーその他、多数の対応センサー/デバイスを WEB にて随時公開  
[http://openblocks.plathome.co.jp/products/obs\\_iot/bx5/sensor\\_dev/](http://openblocks.plathome.co.jp/products/obs_iot/bx5/sensor_dev/)
- FW2.1 で標準サポートするクラウドサービスおよびクラウドサービス向け通信プロトコル
  1. クラウドサービス
    - AWS IoT
    - Amazon Kinesis
    - Watson IoT Platform
    - Azure IoT Hub

- Azure Event Hubs
- Toami for DOCOMO
- KDDI IoT クラウド Standard
- PD Exchange

## 2. クラウドサービス向け通信プロトコル

- MQTT (Standard)
- MQTT for Watson IoT
- AMQP for Azure
- REST
- HTTPS



WEB UI 画面(デバイス設定画面)



WEB UI 画面(クラウド設定画面)

## 展示会情報

6月7日～9日に幕張メッセにて開催される「Interop Tokyo 2017」のぷらっとホームブースにて「OpenBlocks® IoT BX5」が展示されます。是非お立ち寄りください。

- イベント詳細 URL  
<https://www.interop.jp>

## 製品情報

- 品名・価格等  
名称：OpenBlocks® IoT BX5  
型番：OBSBX5  
参考価格：オープン
- 仕様  
CPU：インテル® Atom™ プロセッサ 500MHz (デュアルコア)

メインメモリ : 1GB (LPDDR3)

Flash ROM : 4GB (eMMC)

内蔵インターフェース:

LTE (NTT ドコモ・KDDI に対応)

3G(W-CDMA) (NTT ドコモに対応)

地域 BWA

BT 4.0

WLAN (IEEE802.11a/b/g/n)

外部インターフェース:

USB 2.0 (Type-A) ケーブル

筐体サイズ : 41.6mm (W) x 96mm (D) x 11.3mm (H) (突起部含まず)

電源 : DC 5~48V

搭載 OS : Debian GNU/Linux

## 製品 URL

[http://openblocks.plathome.co.jp/products/obs\\_iot/bx5/](http://openblocks.plathome.co.jp/products/obs_iot/bx5/)

## ぷらっとホームについて

ぷらっとホームはマイクロサーバーの開発製造大手です。1993年の創業より Linux サーバーのパイオニアとして、通信やネットワーク分野に自社製コンピュータを供給してきました。手のひらサイズの超小型 Linux サーバー「OpenBlocks®」は、大手通信事業者をはじめ、物流、輸送、金融、エネルギー産業、官公庁など日本の社会インフラを支える様々な領域で採用されており、今後大きく成長すると見込まれる M2M や IoT (Internet of Things: モノのインターネット) でも大きな注目を集めています。

## 本発表に関するお問合せ先

- 報道機関からのお問合せ先：  
ぷらっとホーム株式会社 製品マーケティング部 星 賢志 (ほし けんじ)  
pr@plathome.co.jp  
Tel 03-5213-4373 / Fax 03-3221-0882
- ユーザー向けのお問合せ先：  
ぷらっとホーム株式会社 営業部 竹内 敬呂 (たけうち よしろ)  
sales@plathome.co.jp  
Tel 03-5213-4370 / Fax 03-3221-3766

- \* 外観・仕様・価格等は予告なく変更する場合があります。
- \* ぷらっとホームおよび Plat'Home の名称・ロゴは、日本国及びその他の国における、ぷらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。
- \* Intel、インテル、インテル Atom は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- \* その他、本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。